

令和4年5月13日

報道機関各位

## 2022 エネ環地研 成果発表会を開催します

エネルギー・環境・地質研究所が、昨年度までに取り組んだ研究開発や技術支援の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

今年度は、会場とオンラインの同時開催とし、海岸に漂着した流木の効率的な処理をテーマとする特別セッションを含め6つのセッションに分かれての口頭発表、並びにポスター発表を行います。

### ◎ 日 時

- ・ 令和4年5月19日（木） 10：30～16：15 【開場：各日9：15】
- ・ 令和4年5月20日（金） 10：00～14：45

### ◎ 会 場

- ・ かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目） 【オンライン同時開催】

### ◎ 内 容

- ・ 詳細、申し込み方法は別添のチラシをご参照ください。

### ◎ 備 考

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況によって、会場開催を中止する場合があります。その場合、会場参加にお申込みの方はオンライン参加に振り替えさせていただきます。

### 【報道（取材）に当たってのお願い】

- ・ 事前又は当日の取材をご希望の場合は、下記の担当者までご連絡ください。

取材申し込み先・お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）  
産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所（エネ環地研）  
研究推進室 研究情報グループ（担当者：主査（広報） 羽二生 浩孝）  
電話 011-747-2427  
Eメール eeg-koho@ml.hro.or.jp



# 2022 エネ環地研成果発表会

地域資源を守り・活かす多彩な取組を紹介！

エネルギー・環境・地質研究所が、昨年度までに取り組んだ研究開発の成果を広く皆様に公開し、ご活用いただくため、成果発表会を開催いたします（無料）。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 **5月19日（木）・20日（金）** 【開場：9:15】

会場 **かでのる2・7** **オンライン同時開催**

■ 口頭発表：かでのるホール ■ ポスター発表・展示：展示ホール

詳細、申込は、当所の Web サイトからお願いします。

申込〆切：5月17日（火）（会場 200名・オンライン 300名）

\*新型コロナウイルスの感染状況によって、会場開催を中止する場合があります。  
その場合、会場参加にお申込の方はオンライン参加に切り替えさせていただきます。

URL <https://www.hro.or.jp/eeg.html>



## 1日目：5/19（木）

● ごあいさつ（10:30～10:45）

道総研エネルギー・環境・地質研究所長 大津 直

● 環境保全部 10:45～11:50

人為的負荷に限られる「糠平湖」で全リン濃度が上昇する原因。気候変動が冬の自然現象に及ぼす影響。道内で観測される高濃度PM2.5の起源の考察など、環境保全に関する成果を紹介します。

● 自然環境部 13:00～14:15

ヒグマの生息密度の推定、エゾシカ捕獲個体の食肉利用、多様な生物の生息地としての農村環境の評価など、野生動物個体群の適正管理と生態系保全に関する研究について紹介します。

● 地域地質部 15:30～16:15

持続可能な地域社会に不可欠な水資源。行政向けの探索・管理情報ツールを開発中です。この他、登別地域で実施した調査・観測結果から熱水活動の特徴や変化を紹介します。

## 2日目：5/20（金）

★ 特別セッション 10:00～11:00

豪雨後に海岸に大量に漂着した流木は、再流出すると漁業施設などに被害をもたらすことがあります。被害軽減のためには、漂着しやすく施設に近い海岸で早急に量を把握して処理につなげる必要があります。そこで、衛星データ、ドローン、AIを活用した効率的で迅速な流木漂着量を把握する技術を開発しました。

● 循環資源部 11:10～11:55

二酸化炭素排出削減、地産地消で注目される薪ストーブのばいじん量の評価方法の提案と、土壌汚染対策に関して、塩類の挙動に着目した土壌修復技術の開発について進捗状況を紹介します。

● 資源エネルギー部 13:30～14:35

地下に眠る未利用の燃料資源を有効活用するための情報整備、自己熱再生技術の実装に向けた理論および数値計算、自動車の使用済み蓄電池を低コストで再利用する技術について紹介します。

● 閉会ごあいさつ（14:40～）

道総研エネルギー・環境・地質研究所副所長 竹花 英彰



## 5/19 環境保全部 10:45 ~ 11:50

- ・糠平ダム湖の栄養状態を左右する地域特有の要因とは？ - リンの動態に着目して …………… 木塚 俊和
- ・気候変動が冬の自然現象に及ぼす影響 - 今世紀末にダイヤモンドダストは見る事ができる？ …………… 長谷川 祥樹
- ・高濃度のPM<sub>2.5</sub>はどこから？ …………… 大塚 英幸

## 5/19 自然環境部 13:00 ~ 14:15

- ・西オホーツクの森でヒグマを数える！ - ヘア・トラップ調査による生息密度推定 …………… 白根 ゆり
- ・良質なエゾシカ肉生産を目的とした取扱法の検討 - 一時養鹿個体との殺前係留処理の効果について …………… 亀井 利活
- ・農村環境における生物多様性の現状と評価 - モデル地域“当別町”における植生からみた農村環境の特徴 …………… 島村 崇志

## 5/19 地域地質部 15:30 ~ 16:15

- ・登別地域での熱水活動による災害の軽減に向けて - 熱水の特徴と変化を調べる …………… 高橋 良
- ・水資源情報の「見える化」の試み - どこにどんな水があるのか …………… 森野 祐助

## 5/20 海岸に漂着した流木を効率的・迅速に把握して処理につなげる ～衛星画像・ドローン画像とAI技術の活用～ 10:00 ~ 11:00

特別セッション

- ・漂着の現状と処理の実態・課題 …………… 不破 秀樹（北海道 環境生活部 環境保全部 循環型社会推進課）
- ・処理優先エリアを効率的に抽出する - 宇宙からの目で、漂着しやすい海岸を見える化 …………… 長坂 晶子（林業試験場）
- ・漂着量を迅速に把握する - ドローンとAIで現場の負担を軽減 …………… 山口 勝透
- ・総合討論

## 5/20 循環資源部 11:10 ~ 11:55

- ・安全な薪ストーブを作るために - 煙の量についてアメリカの事例を参考に考えてみました …………… 丹羽 忍
- ・土壌を“その場”でキレイにするために - 電気泳動現象の利用 …………… 明本 靖広

## 5/20 資源エネルギー部 13:30 ~ 14:35

- ・地下に眠る未利用燃料資源の活用に向けて - 温泉に付随する天然ガスを有効活用するための情報整備 …………… 林 圭一
- ・自己熱再生による省エネルギーシステムの実装に向けて …………… 富樫 憲一
- ・使用済み車載蓄電池の低コストな再利用方法 - AIを用いた迅速・高精度な性能選別技術 …………… 林田 淳

### ポスター発表：5/19（木）

12:00 ~ 13:00<sup>1</sup>  
14:15 ~ 15:15<sup>2</sup>

あなたの地域の未来予想図、示します

- 気候変動予測データベースの開発 …………… 鈴木 啓明<sup>1</sup>
- 速やかな二酸化炭素排出量の算定を目指して …………… 濱原 和広<sup>1</sup>
- 摩周湖立入規制の環境保全への効果は？ - 湖畔のゴミからわかったこと山口 高志<sup>1</sup>
- 河川水中のマイクロプラスチックを測ってみた
- 北海道内河川におけるパイロット調査 …………… 永洞 真一郎<sup>1</sup>
- 北海道内における化学物質存在量の見える化 …………… 田原 りり子<sup>1</sup>
- ヒグマによる人身事故の調査からわかったこと
- ヒグマに襲われないために …………… 釣賀 一二三<sup>2</sup>
- 阿寒湖周辺の森林植生に及ぼすエゾシカの影響評価
- 25年間にわたる長期モニタリングの結果 …………… 稲富 佳洋<sup>2</sup>
- アライグマ防除における自治体の取り組み - 新十津川町の事例 …………… 山口 沙耶<sup>2</sup>
- 農村の鳥類相と草原性鳥類の利用環境 - 新篠津村の調査より …………… 玉田 克巳<sup>2</sup>
- 寒冷地特有の緩斜面の災害に備える
- 礼文島2014年・2020年豪雨の事例から …………… 石丸 聡<sup>2</sup>
- 地下に賦存する塩水の起源は？ - 微量な化学成分から探る …………… 新谷 毅<sup>2</sup>

### ポスター発表：5/20（金）

12:00 ~ 13:00

空撮画像から流木を抽出したい？その作業、AIがやります！

- 海岸流木自動識別アプリケーションの裏側 …………… 福田 陽一郎
- 鉄鋼スラグと廃ガラスをタイルにアップサイクル！ …………… 稲野 浩行
- 道内で最終処分される汚泥ってどんなもの？
- 行政報告データ等を用いた汚泥処理の実態把握に向けて …………… 朝倉 賢
- 家畜ふん尿のエネルギー利用拡大に向けて
- 乾式メタン発酵技術とエネルギー利用調査 …………… 鎌田 樹志
- 家畜ふん尿を地産地消エネルギーに
- FIT後を見据えたバイオガスのエネルギー需給モデルの検討 …………… 白土 博康
- 温泉熱および可燃性付随ガスの効率的な利活用
- 足寄町新町地区のイチゴ栽培ハウスの事例 …………… 山越 幸康
- 効果的・効率的な地熱調査に向けて
- 屈斜路カルデラ南東域における電磁探査の事例 …………… 岡 大輔
- 道産マイワシの消費拡大のための高鮮度保持技術の開発
- 漁船船倉内の温度分布とマイワシの鮮度評価 …………… 藤澤 拓己